

## 第29回クリーンセンター滋賀環境監視委員会会議概要

1. 日時平成26年3月19日(水)14:15~16:45

2. 開催場所 クリーンセンター滋賀 研修室 他

3. 出席者 環境監視委員

学識経験者: 金谷委員長

住民代表: 中島(茂)委員、廣岡委員、中邨委員、  
渡邊委員、中島(仁)委員

事業者: 乾委員、深川委員

甲賀市: 福井委員、広岡委員、藤田委員

環境事業公社: 中村(敏)委員

事務局: 公益財団法人滋賀県環境事業公社

中村副理事長、中村事務局長、田中所長  
中村副所長、西村参事、居川主査



4. 議事概要

(1). あいさつ(公社 副理事長)

(2). 活動内容報告

1) 水質調査結果について.....資料1

2) 硫化水素自主測定結果について.....資料2

3) 搬入実績について.....資料3

4) 平成25年度クリーンセンター滋賀第2-2期施設整備工事について.....資料4

5) その他(現地視察等)

### 【主な意見および質疑】

(水質検査結果について)

○地下水の環境基準値を示していただいているが、超過している項目はないか？

→ありません。

(硫化水素自主測定結果について)

・安全対策の中で、「指示があるまで作業を再開しないこと」という表現が数か所出てくるが、「指示する者」は誰か？

→公社の職員が安全を確認して指示を出します。

・安全対策について、作業員への説明はどのように行っているのか？

→このマニュアルにより研修を行うとともに、朝、作業前の打ち合わせの中でも説明しております。

・作業中に、警報の鳴った場所、時間などの記録は取っているのか？

→これまでに鳴ったことはありませんが、作業日誌の特記事項として記録するようにしています。

- ・作業者に「こういうことをすると危険である」という意識付けをするべきである。
- ・毎月の測定データを作業員控室に掲示しているということだが、ガス抜き管の周りの状況の方が重要と考えられるので、周りのデータも一緒に示したり、ガス抜き管のバリケードに表示するなど、一目でわかる手段を考えていただきたい。
- ・高い値が続いている地点⑤の周りで、どの程度のピークがあるのかをとらえる必要があると考えられる。
  - 調査の方法などを含めて検討いたします。
  - ⇒測定方法、作業員への伝達方法など、いろいろ研究を行っていただきたい。

(搬入実績について)

- ・廃棄物の受け入れ量の計画はどうなっているのか？
  - 昨年度から今年度にかけては大口の搬入業者に対して搬入制限を行ってきたことから、H24～25に比べると増加すると考えております。
  - 中期経営計画では、H26が35千t、H27が34千t、H28が33千tとなっております。
- ・石綿含有廃棄物は飛散することはないのか？また、ばいじんなどには重金属が含まれているのではないかと？
  - 石綿含有廃棄物は、いわゆる吹き付け石綿など飛散性の高いものは特別管理産業廃棄物となり、当社は許可を受けておらず、処分することはできません。当社で処分しているものは、スレート板などの非飛散性のものだけであり、梱包して持ち込まれたものをそのまま埋め立てしております。
  - また、ばいじんなどについては、重金属などについて埋立処分基準がありますので、事前に分析をしていただき、基準を満足するものだけを受け入れております。また、公社においても、蛍光 X 線分析装置にて搬入ごとのスクリーニング検査を行っております。

(平成25年度クリーンセンター滋賀第2-2期施設整備工事について)

- ・工事完了状況を視察



◎次回、環境監視委員会は7月ごろに開催予定。